平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名　英和株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9857　URL　http://www.eiwa-net.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 阿部　健治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長　(氏名) 山枡　理伸　TEL 06-6539-4801

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日　配当支払開始予定日　平成24年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,058	△2.9	166	△20.7	166	△21.1	79	△36.2
24年3月期第2四半期	12,413	9.5	209	276.7	211	275.6	124	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　33百万円　(△73.3%)　24年3月期第2四半期　126百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	12.58	―
24年3月期第2四半期	19.71	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,737	6,595	41.9
24年3月期	18,615	6,625	35.6

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　6,595百万円　24年3月期　6,625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	5.00	―	10.00	15.00
25年3月期	―	5.00			
25年3月期(予想)			―	8.00	13.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	△0.3	653	△6.1	653	△6.1	313	△8.0	48.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	6,470,000 株	24年3月期	6,470,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	135,680 株	24年3月期	135,629 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	6,334,326 株	24年3月期2Q	6,334,786 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……２
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……３
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 ……４
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……４
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……４
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……４
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……４
４．四半期連結財務諸表 ……５
（１）四半期連結貸借対照表 ……５
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……７
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 ……７
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 ……８
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……９
（４）継続企業の前提に関する注記 ……10
（５）セグメント情報等 ……10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10
（７）重要な後発事象 ……10
５．補足情報 ……11
生産、受注及び販売の状況 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成24年４月１日から平成24年９月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に企業の生産活動や設備投資に回復の兆しが見られたものの、歴史的な円高や欧州の財政不安による海外経済減速を背景とした輸出の減少により、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況下、当社グループにおきましては、経営基本方針として「経営基盤の強化と企業価値の向上」を継続し、顧客密着営業の強化のもと、単品販売だけでなく、エンジニアリング機能強化によるシステム販売や、顧客のあらゆるニーズに的確に対応するワンストップ販売を推進してまいりました。

既存事業領域である石油化学、鉄鋼、電力業界等における各種プラント設備の安定運転維持に必要な計測制御機器、設備の維持、延命に必要な保安・メンテナンス機器、省エネ機器やオイル管理機器等の環境配慮型商品の拡販に注力するとともに、東日本大震災の復興需要を取り込み、社会インフラ市場への各種産業機械の販売に努力いたしました。

また、当社グループの重点市場と位置付ける研究開発市場においては、情報の共有と活用による顧客の開拓と深耕を推進し、中国市場においては、リプレース需要拡大に注力するとともに、環境配慮型商品の拡販を促進し、新たな収益基盤の構築に邁進してまいりました。

その結果、官公庁向けを中心として路面清掃車他産業機械の売上が伸張したものの、船舶、電力、機械設備、プラント関連他全般的に設備投資が低調で、工業用計測制御機器の売上が伸び悩み、当第２四半期連結累計期間の売上高は120億58百万円（前年同四半期比2.9％減）となり、売上総利益19億10百万円（前年同四半期比4.1％減）、営業利益１億66百万円（前年同四半期比20.7％減）、経常利益１億66百万円（前年同四半期比21.1％減）、四半期純利益は79百万円（前年同四半期比36.2％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ28億78百万円減少し157億37百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金が27億89百万円減少したことが主な要因であります。

一方負債の部では、前連結会計年度末に比べ28億49百万円減少し91億41百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が23億93百万円、未払法人税等が２億20百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産は剰余金の配当による減少が63百万円、その他有価証券評価差額金の減少が48百万円、四半期純利益が79百万円であること等により前連結会計年度末に比べ29百万円減少し65億95百万円となりました。その結果、自己資本比率は41.9％となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という）は17億３百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億26百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、47百万円となりました。（前年同四半期連結累計期間は５億99百万円の減少）これは、売上債権の回収が、仕入債務の支払いを上回ったことが主な要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、71百万円となりました。（前年同四半期連結累計期間は17百万円の減少）これは、有形固定資産の取得による支出が38百万円、投資有価証券の取得による支出が20百万円あったことが主な要因であります。

これにより、営業活動によるキャッシュ・フローと、投資活動によるキャッシュ・フローをあわせたフリー・キャッシュ・フローは、23百万円のマイナスとなりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、１億３百万円となりました。（前年同四半期連結累計期間は18百万円の増加）これは、配当の支払いによる支出があったことと、長期借入金の返済による支出があったことが主な要因であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、円高や海外経済減速を背景とした輸出の減少等により、経済環境の先行きは減速感が強くなってきています。このような状況のもと、当社グループは、現場戦力とチーム力の強化・育成に注力するとともに、当社グループの強みである全国のセールスネットワークを活かした付加価値の高いベストな提案を行い、提案型技術商社として顧客満足度の一層の向上に努めることで、経営計画の実現に邁進してまいります。

なお、通期の連結業績予想につきましては受注が堅調に推移しており、現時点では平成24年５月14日に発表いたしましたとおりであります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）
（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更） 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 この変更が損益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,829,784	1,703,574
受取手形及び売掛金	13,293,551	10,503,953
たな卸資産	431,095	545,487
その他	243,624	214,864
貸倒引当金	△7,914	△6,225
流動資産合計	15,790,140	12,961,654
固定資産		
有形固定資産	1,474,637	1,490,921
無形固定資産	100,058	91,293
投資その他の資産		
その他	1,315,822	1,258,264
貸倒引当金	△64,846	△65,033
投資その他の資産合計	1,250,975	1,193,231
固定資産合計	2,825,672	2,775,446
資産合計	18,615,812	15,737,100
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,047,985	7,654,284
短期借入金	79,588	50,000
1年内返済予定の長期借入金	180,000	430,000
未払法人税等	247,365	27,068
賞与引当金	365,860	203,566
役員賞与引当金	18,000	9,152
その他	285,160	230,111
流動負債合計	11,223,959	8,604,182
固定負債		
長期借入金	430,000	167,936
退職給付引当金	217,332	243,439
引当金	118,631	125,070
その他	680	680
固定負債合計	766,643	537,125
負債合計	11,990,602	9,141,307

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,533,400	1,533,400
資本剰余金	1,567,550	1,567,550
利益剰余金	3,523,621	3,539,966
自己株式	△48,584	△48,602
株主資本合計	6,575,986	6,592,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,651	12,919
為替換算調整勘定	△12,427	△9,440
その他の包括利益累計額合計	49,223	3,478
純資産合計	6,625,210	6,595,792
負債純資産合計	18,615,812	15,737,100

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	12,413,463	12,058,098
売上原価	10,420,597	10,147,604
売上総利益	1,992,865	1,910,494
販売費及び一般管理費	1,782,890	1,744,058
営業利益	209,975	166,436
営業外収益		
受取利息	1,987	973
受取配当金	3,230	3,814
仕入割引	8,465	6,694
為替差益	133	－
その他	6,513	6,749
営業外収益合計	20,331	18,231
営業外費用		
支払利息	6,876	4,704
支払保証料	7,387	9,635
為替差損	－	845
その他	4,641	2,602
営業外費用合計	18,905	17,787
経常利益	211,400	166,880
特別利益		
有形固定資産売却益	－	250
特別利益合計	－	250
特別損失		
有形固定資産除却損	1,305	1,505
ソフトウエア除却損	－	213
その他	26	－
特別損失合計	1,331	1,719
税金等調整前四半期純利益	210,069	165,411
法人税、住民税及び事業税	86,893	17,411
法人税等還付税額	△15,645	－
法人税等調整額	13,933	68,311
法人税等合計	85,181	85,722
少数株主損益調整前四半期純利益	124,887	79,688
四半期純利益	124,887	79,688

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	124,887	79,688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△402	△48,731
為替換算調整勘定	2,503	2,987
その他の包括利益合計	2,100	△45,744
四半期包括利益	126,988	33,943
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,988	33,943
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	210,069	165,411
減価償却費	38,136	40,093
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△736	△1,503
退職給付引当金の増減額（△は減少）	28,649	26,107
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△32,371	6,439
受取利息及び受取配当金	△5,218	△4,787
支払利息	6,876	4,704
為替差損益（△は益）	△2,340	－
有形固定資産売却損益（△は益）	－	△250
有形固定資産除却損	1,305	1,505
無形固定資産除却損	－	213
売上債権の増減額（△は増加）	801,967	2,790,949
たな卸資産の増減額（△は増加）	△51,469	△114,363
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△18,389	△51,662
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,248,394	△2,395,051
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△60,506	△200,231
その他	△17,160	7,797
小計	△349,582	275,370
利息及び配当金の受取額	5,068	4,688
利息の支払額	△6,730	△4,462
法人税等の支払額	△266,179	△228,271
法人税等の還付額	17,536	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	△599,888	47,325
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,560	△38,022
有形固定資産の売却による収入	－	250
無形固定資産の取得による支出	△7,354	△6,839
投資有価証券の取得による支出	△359	△20,814
その他	△480	△5,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,753	△71,280
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	－	△28,141
長期借入れによる収入	550,000	128,141
長期借入金の返済による支出	△500,000	△140,000
自己株式の取得による支出	△145	△17
配当金の支払額	△31,800	△63,186
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,053	△103,204
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,000	948
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△598,589	△126,209
現金及び現金同等物の期首残高	2,609,606	1,829,784
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,011,017	1,703,574

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

当社グループは、工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、産業機械等をユーザーへ販売（一部製造販売）することを事業としております。取扱商品の内容、販売市場、販売方法、サービスの提供方法が類似している事等から判断して、当社グループの事業区分としては単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。

５．補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第２四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

品目別	生産高(千円)
工業用計測制御機器	113,126
産業機械	86,822
合計	199,949

(注) １　上記は製造を行っております連結子会社(双葉テック㈱)の合計金額であります。
２　上記金額は製造原価によっております。
３　上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第２四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

品目別	受注高(千円)	受注残高(千円)
工業用計測制御機器	134,661	25,541
産業機械	85,896	65,549
合計	220,557	91,091

(注) １　連結子会社(双葉テック㈱)において受注生産を行っております。
２　上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第２四半期連結累計期間における品目別の販売実績は、次のとおりであります。

品目別	販売高(千円)
工業用計測制御機器	6,774,047
環境計測・分析機器	965,006
測定・検査機器	622,488
産業機械	3,696,555
合計	12,058,098

(注)　上記金額には、消費税等は含まれておりません。